

災害廃棄物処理業務（巨理名取ブロック（岩沼処理区））

業務番号：平成23年度 環災第1-262号

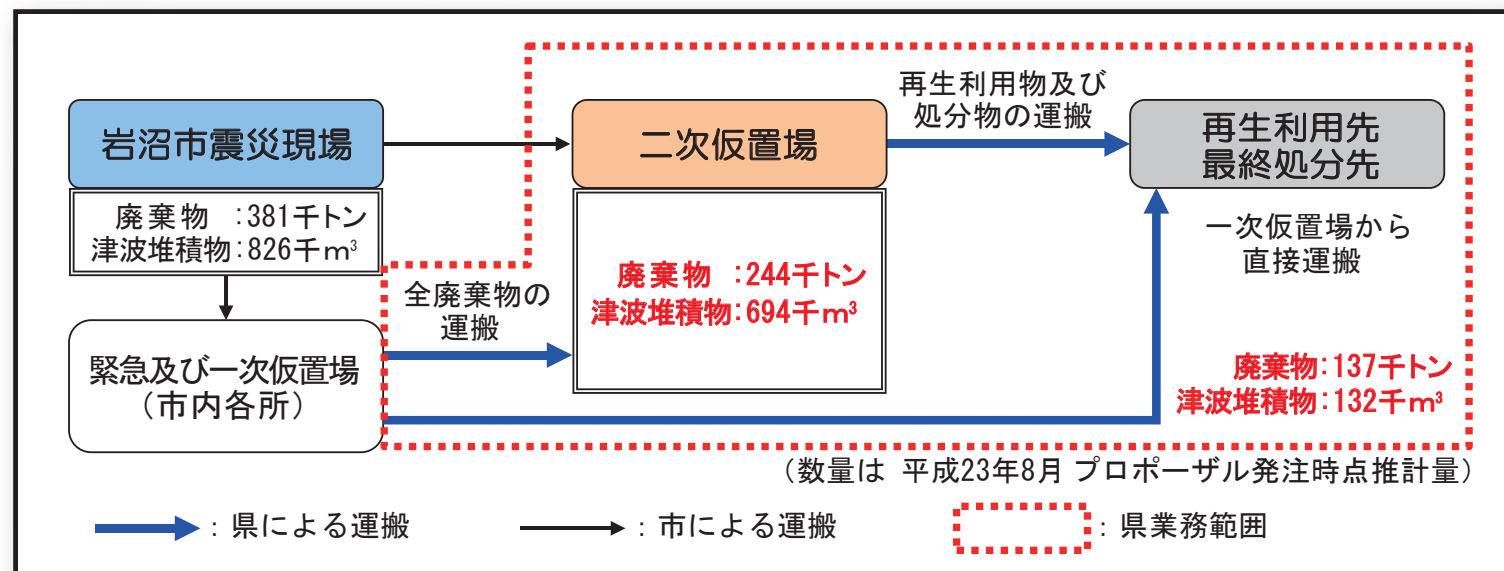
業務名称：災害廃棄物処理業務（巨理名取ブロック（岩沼処理区））

委託者：宮城県環境生活部震災廃棄物対策課

受託者：間組・奥田建設・上の組・春山建設・佐藤建設 特定業務共同企業体

業務期間：平成23年10月19日～平成26年3月25日

業務範囲



一次仮置場・二次仮置場位置及び運行ルート図



災害廃棄物発生量

宮城県災害廃棄物処理実行計画（第二次案）平成24年7月

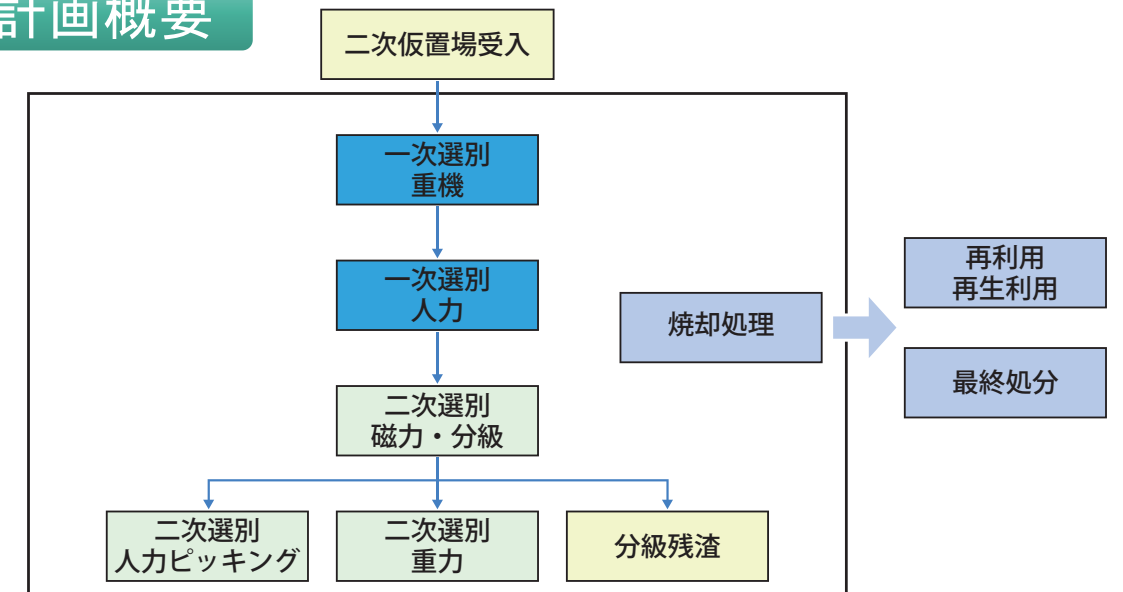
見直し 処理対象量

災害廃棄物等の発生量

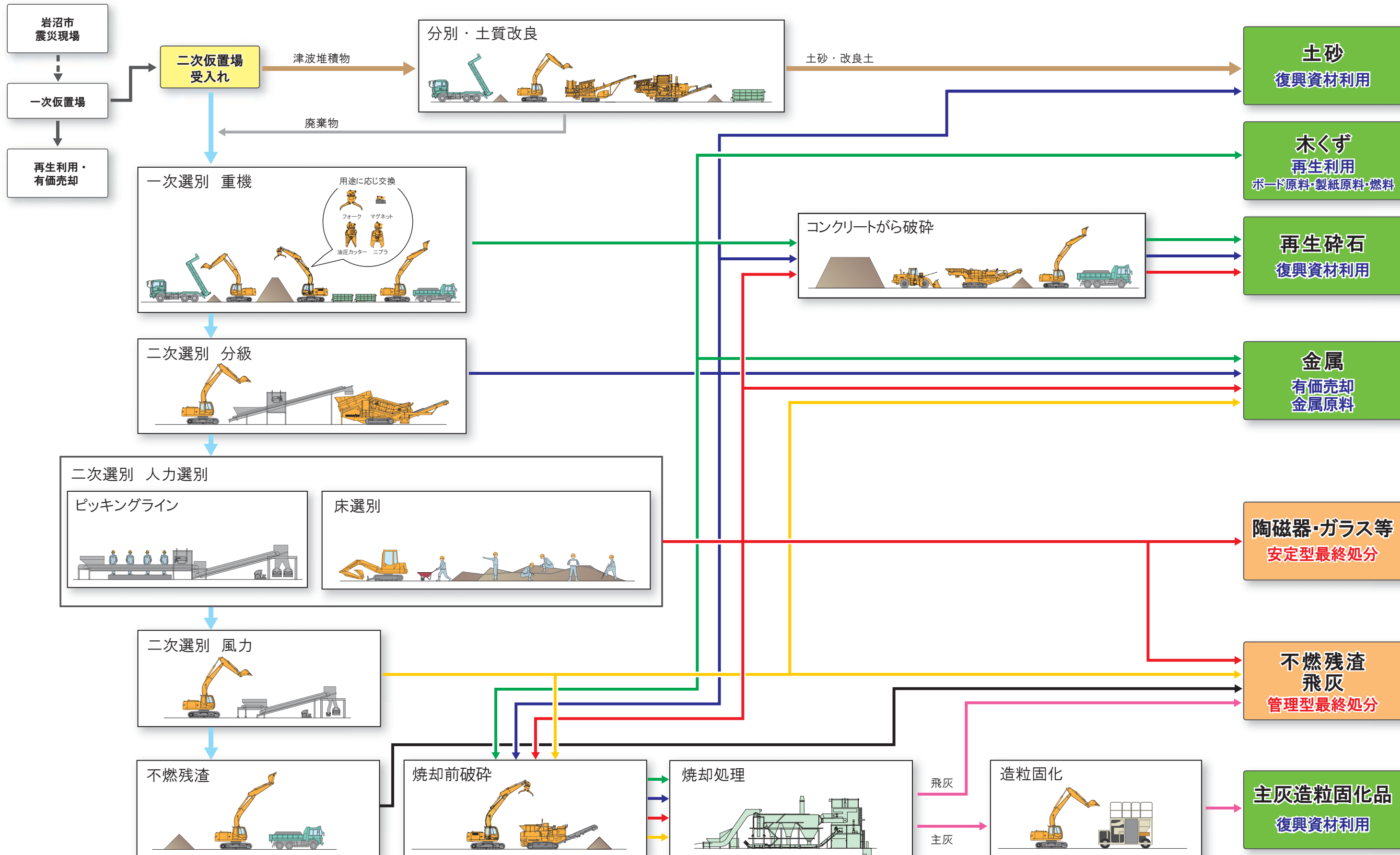
項目	宮城県全体 (県受託分)	岩沼処理区	
		対象量	県全体に 対する比率
災害廃棄物	683万トン	34万トン	5%
津波堆積物	237万トン	50万トン	21%

廃棄物の種類		業務対象量
可燃物	木くず	2万トン
	粗大・混合ごみ	1万トン
不燃物	コンクリートくず	9万トン
	アスファルトくず	0万トン
	金属くず	2万トン
	粗大・混合ごみ	20万トン
合計		34万トン

処理計画概要



処理フロー



二次仮置場施設概要図



県南浄化センター

県道岩沼海浜緑地線



中間処理ヤード	
一次選別	重機選別
一次選別	人力選別
二次選別	分級磁力選別
二次選別	風力・アルミ選別
二次選別	人力選別ピッキングライン

焼却処理施設
安全かつ確実な焼却処理を行うため、各炉形式の長所を活かし、ロータリーキルン炉1基、固定床ストーカ炉2基を設置

混合廃棄物

津波堆積物

津波堆積物選別・分級ヤード

焼却灰貯留テント

コンクリートがら
破碎ヤード

計量設備
(焼却量管理)

計量設備
(搬入量管理)

タイヤ洗浄設備

計量設備(般出量管理)

入場受付所

有害廃棄物
貯留ヤード

木材洗浄
ヤード

沈澱池

濁水処理設備

搬出物貯留ヤード

木材貯留ヤード【廃材】

木材貯留ヤード【自然木】

混合廃棄物
津波堆積物
貯留ヤード

混合廃棄物

コンクリートがら

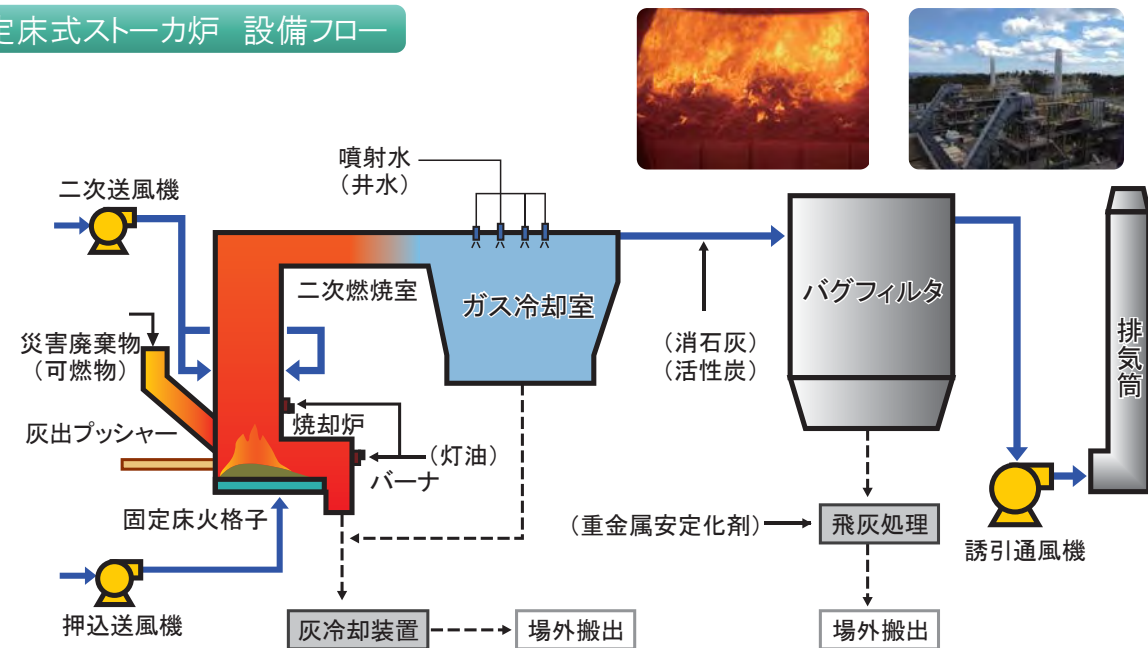
混合廃棄物
津波堆積物
貯留ヤード

仮設焼却炉 概要

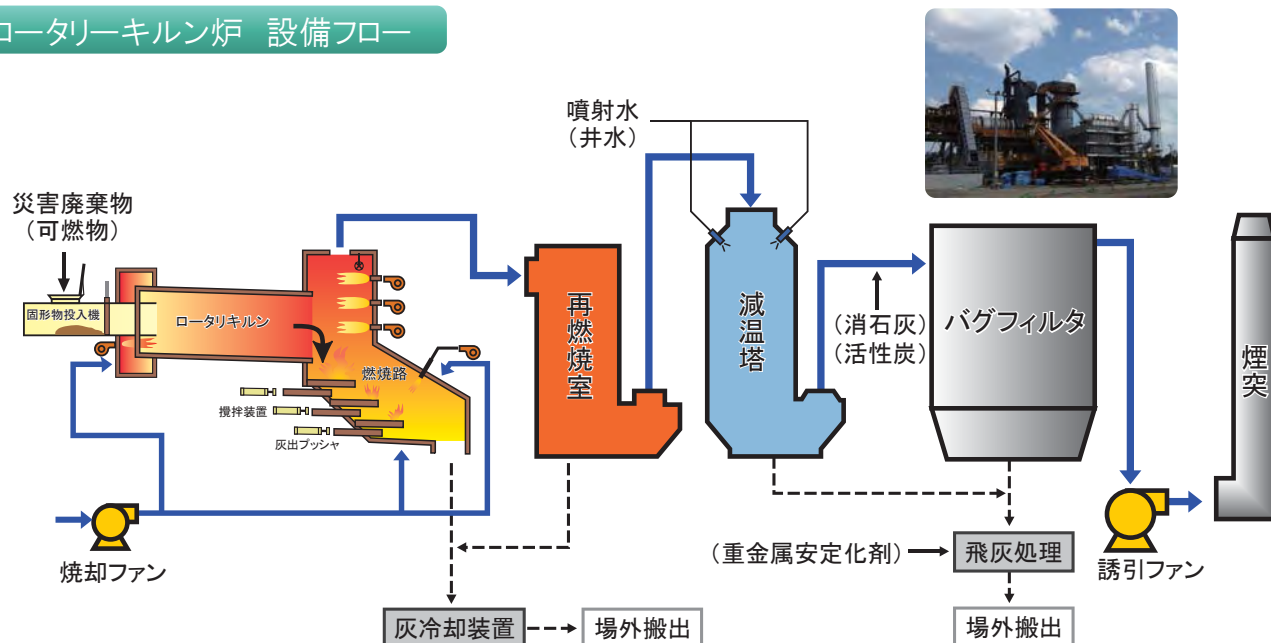
施設概要

本仮設焼却炉では焼却処理により廃棄物の無害化・減容化が図られます。燃焼方式として固定床式ストーカ炉（1,2号炉）とロータリーキルン炉（3号炉）の2種類の方式を採用しており、多様なごみ質に対応可能です。焼却により発生する排ガスは、排ガス処理設備（乾式有害ガス除去装置+バグフィルタ方式）にて管理基準値以下まで処理されます。燃焼ガス温度、ばいじん濃度、一酸化炭素濃度などの数値は常時監視・記録を行います。

固定床式ストーカ炉 設備フロー

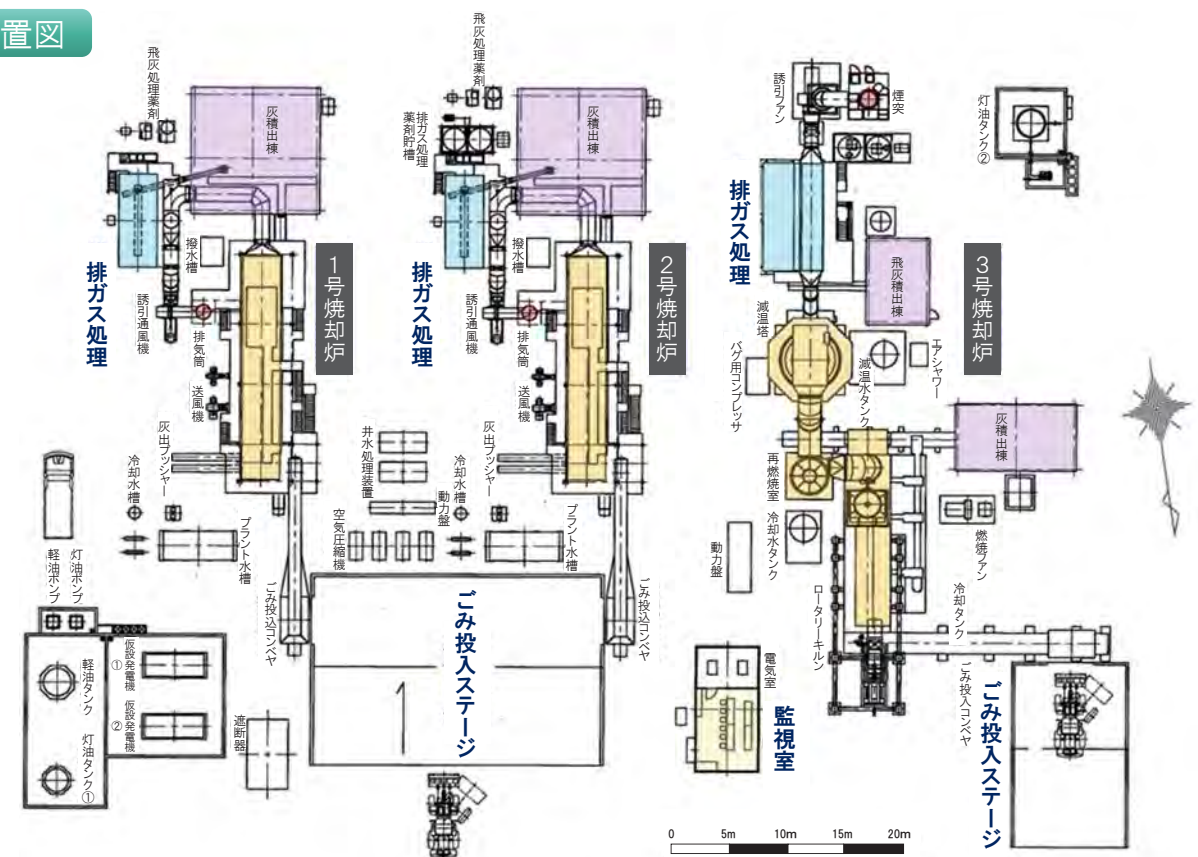


ロータリーキルン炉 設備フロー



炉形式	1, 2号焼却炉：固定床式ストーカ炉（連続燃焼式） 3号焼却炉：ロータリーキルン炉（連続燃焼式）	
焼却能力	1, 2号焼却炉：50t / 日 × 2炉 3号焼却炉：95t / 日 × 1炉	
処理する災害廃棄物の種類	廃木材、可燃性粗大ごみ、流木、廃プラスチック等	
工事期間	3.5ヶ月（現場工事期間）	
焼却温度・滞留時間	850℃、2秒	
燃焼ガス冷却設備	水噴射式減温塔	
排ガス処理設備	乾式有害ガス除去装置+バグフィルタ方式	
稼働時間（年間稼働日数）	24時間連続稼働（300日稼働 / 年間）	
排ガス管理基準値	硫黄化合物量	1, 2号焼却炉：5.8 (K値) 以下 3号焼却炉：6.2 (K値) 以下
	窒素化合物濃度	250 ppm 以下（酸素濃度 12%換算乾き）
	ばいじん濃度	0.08g / m ³ 以下（酸素濃度 12%換算乾き）
	塩化水素濃度	90 ppm 以下（酸素濃度 12%換算乾き）
	ダイオキシン類濃度	1.0 ng-TEQ / m ³ 以下（酸素濃度 12%換算乾き）
	一酸化炭素濃度	100 ppm 以下（1時間平均値）（酸素濃度 12%換算乾き）

全体配置図

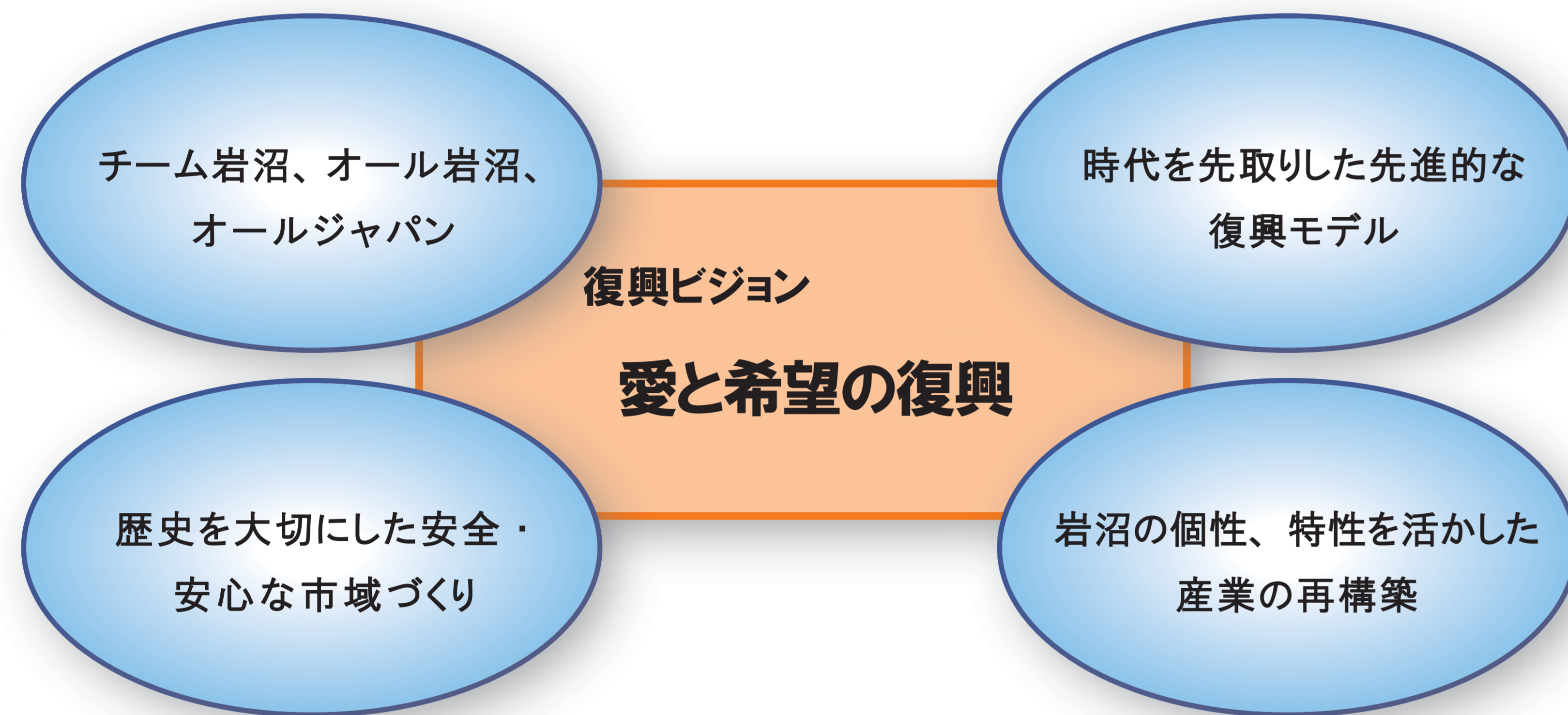


岩沼市震災復興計画

1. 基本理念

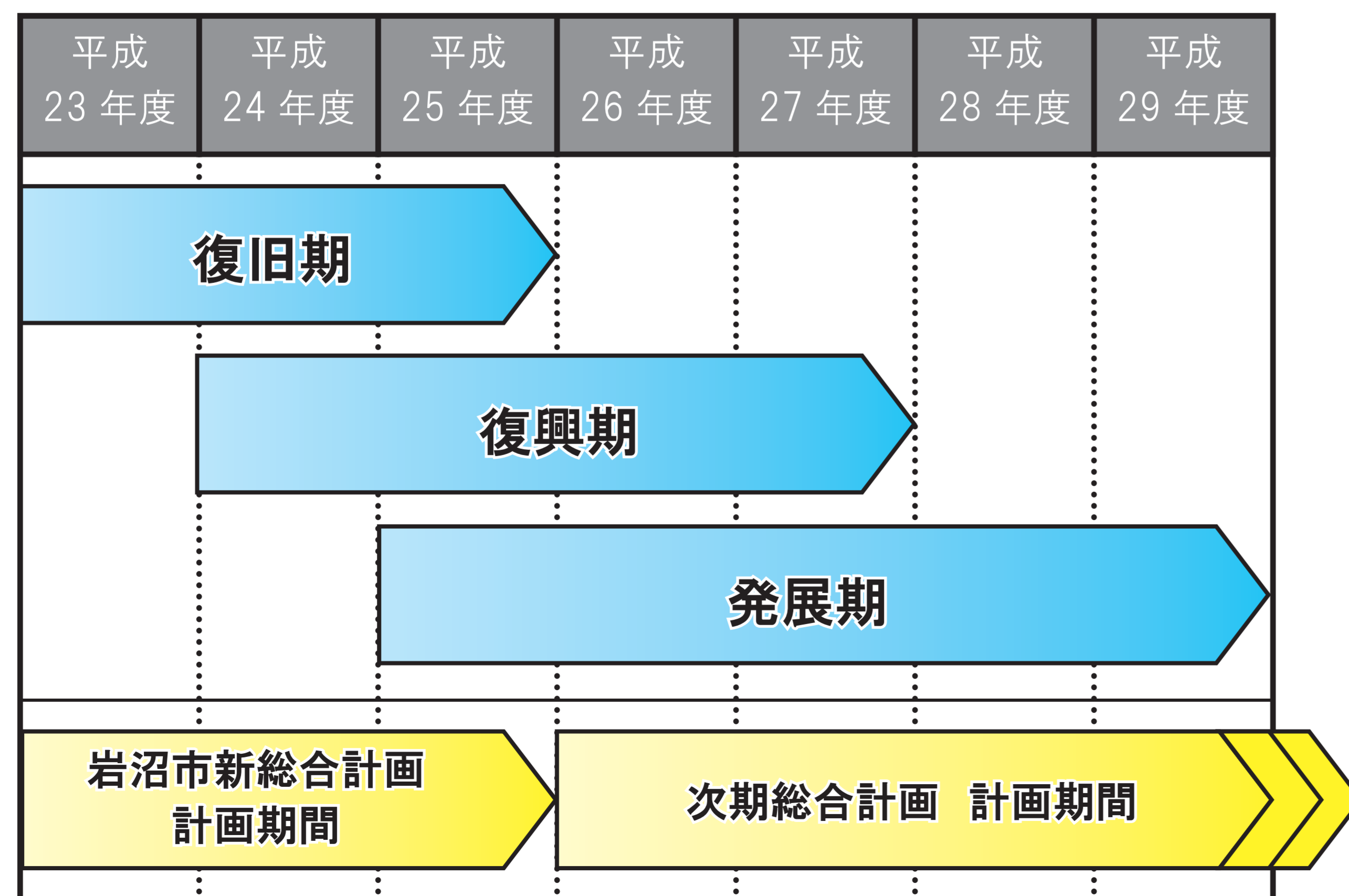
これまで岩沼市では、多くの市民が共感し共有できるまちづくりへの想いとして『**人**のあるまち いわぬま～参画と連携で育むまちづくり～』を掲げ、市民と行政がそれぞれの立場で主体的に、かつお互いが理解し合い協力してまちづくりに取り組んできました。

震災復興にあたっては岩沼市新総合計画に掲げた理念を踏まえ、次の復興ビジョンと4つの基本理念に基づいて、震災復興に取り組めます。



2. 計画期間

本計画の計画期間は、平成23年度から29年度までの7年間とします。長期的な視点に立った基本理念を実現するため、復旧期・復興期・発展期を設定し、スピード感を持って各種事務事業に取り組めます。



岩沼市復興イメージ

